

かみまち 農業委員会だより

加美町農業委員会

加美町字長檀75番地2 (☎ 67-5411)

第9号

平成24年6月15日発行



「イチ・ニのサン・」声を合わせてイネの苗を空に向かって「エイッ」。無事田んぼに着地した苗。大きく育つといいね。また、みんなで稲刈りに来るからね。

〓 小野田・宮崎地区こども園、幼稚園 空中田植体験より 〓

東日本大震災から一年

会長代理 鈴木二郎

東日本大震災から一年が過ぎました。マスコミ等の報道を見ると、少しずつではありますが、復興の兆しも見えてきました。人は本当に逞しいものだと思えます。

一方、放射能被害という問題です。我が緑豊かな加美町も残念ながら汚染されてしまいました。放射能という目には見えない敵とのこれから長年に亘る戦いとなりました。

我々農家は、汚染されたという現実を受け止め、除染に取り組み、消費者に安全な物を生産し届ける役割があります。

生産者・消費者共に、必要以上に過敏にならず、しっかりと情報を取り入れ生活していきたいものです。

遊休農地を再生利用

水田区画が小さく、水路整備も不十分なため、耕作放棄地になっている地区の解消と有効利用を図るため加美町農業委員会では次の上狼塚地区と田川地区の農地について、遊休農地の解消を実施しました。

上狼塚地区

場所は、上狼塚地区の北東に位置し、大崎市古川耳取地区に隣接する場所で、総じて5アールくらいの水田が多く、後継者問題や高齢化から管理が不十分なため、葎等が伸びて荒れている状態になっていた。

平成22年度に約2ヘクタールを整備したのに引き続き、今回も約2ヘクタールの農地について宮城県農業公社の農地継承円滑化事業を利用し、簡易な基盤整備を行ないました。

事業費は八百十七万円で、本事業では2分の1が国から助成されます。



(解消工事前 ↑)



(解消工事後 ↑)



(田植えの風景 6月6日実施 ↑)

田川地区

場所は、田川地区の住宅地の北側に隣接し、3アールくらいの水田がほとんどで、水路整備も不十分なこと耕作が放棄されており、葎が伸び、雑木も見受けられるく

※写真は解消された田川地区の工事前後

整備内容は、両事業ともに雑草の刈り払い、雑木の伐採除去、暗渠排水の設置、水路改修、農道整備をしました。併せて、大型の農業機械で作業ができ

らい管理されていない状態になっていました。

また、当地区は、住宅地に隣接する場所であることから、枯れ草の火災についても心配されていました。

今回、約77アールの農地について、加美町耕作放棄地対策協議会が再生利用交付金事業を利用し、簡易な基盤整備を行いました。事業費は四百六十二万円で、2分の1が国から助成されます。

る圃場へと生まれ変わりました。今後は、多数の農地所有者の方からまとまった形で農地が貸し付けられ、引き受け手となる認定農家が飼料作物等を作付けしていきます。

事務局レポート

今年には雪解けが遅く工事が遅れ6月6日にやっと田植えができました。できたての圃場はぬかるんで作業に時間がかかりましたが、地権者の方々と地域おこし協力隊員の協力で無事終わることができました。

◆ ◆ ◆

農業委員会では、今後も耕作放棄地の解消に向け取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

田川地区代表者 我孫子 武二

国道347を小野田方面に進み田川橋の少し手前左側を見ると、住宅街を背景にヨシ・カヤの群生が目に入る。田川地区耕作放棄地である。小動物や野鳥が棲み所を作り、数年前の春には野火がありました。住宅と近いということで、再耕したいとの強い思いもありましたが、この地区は俗称「川田」と呼ばれ排水が悪く小區画で変形田、挙句に接続する農道が無く「再耕」の話は前進しませんでした。

昨年の十月、地権者の一人であるS氏から農道の部分において協力を得られ、その後、農業委員会、県農業公社、全地権者7名との話し合いが持たれ、耕作放棄地再生事業として取り組み、実施する運びとなりました。

雪解けが遅く、5月の大雨の影響もあり、工事が大幅に遅れましたが、農地整備、用排水路改修、農道新設、畦畔除去等を行い機械作業が容易にできるよう改工しました。6月6日にWCS用稲の田植えを行い「ホツ・」と胸を撫で下ろしたところです。

今回の事業において、有形無形で力になっていただいた方々から感謝を申し上げます。

報告1

土産センターの会員15名が エコファーマーを取得しました！

農業委員会では、大崎農業改良普及センターのご協力のもと、女性農業委員の取り組みの一つとして、産直に係わる方、また、女性農業者を対象にエコファーマー取得のお手伝いをしています。



大崎農業改良普及センターの
及川所長さんから一人ひとり
エコファーマー認定証をいただき
ました。

平成23年度加美町女性農業委員の取り組みの一つとして、産直に係わる方や女性農業者を対象にエコファーマー取得のお手伝いをしてきました。

今回エコファーマー取得に取り組んだのは、やくらい土産センターの会員15名。11月にエコファーマー取得のための勉強会を開催し、12月にはそれぞれの畑の土壌調査を普及センターに依頼、1月にその結果を基に今後の肥培管理の指導を受け、同時に申請書を提出。3月12日、全員がエコファーマー認定証を受け取りました。

消費者に安心・安全な農作物を届けるために、化学肥料や農薬は極力控えて栽培していますが、エコファーマーを提示することにより、作物に対する自信と責任、消費者には見える安心につながると思っています。

農業委員会では、今後もエコファーマー取得のお手伝いを続けてまいります。



報告2

中新田保育所園児 25年連続で農業体験！

農業委員の仕事に啓蒙活動があります。食と農に関すること「食育」もその一つと考えます。農業委員会では、5月25日中新田地区の農業委員7名と中新田保育所5歳児54名でさつまいもの苗を植えました。



「さつまいもの苗を寝せたら
土の布団をやさしく掛けてあげましょう」指導する農業委員も汗だくです。

幼いころから土に親しみ、農業の楽しさを知ってもらうことが目的で始まった中新田保育所園児と農業委員とのさつまいも植えも今年で25年目を迎えました。

畑は河川公園内の体験学習地で、さつまいもの苗500本と肥料は加美よつば農協から提供をいただきました。当日、午前9時に集合した委員7名で、畑を起こし、畝を立て、溝を掘って苗を1本ずつ置き下準備を整えました。

今回農業体験に参加した園児は5歳児54名で、ほとんどが初めての体験です。最初に委員が植え方のお手本を見せて早速作業に取り掛かりました。畝を挟んで向き合い声を掛けながら約一時間で終了しました。

この後、7月に除草をし、10月末にまた一緒に収穫を楽しみます。例年どおり大きく育つといいですね。

今年は、中新田保育所のみ行ないましたが、小野田地区・宮崎地区でも実施できるよう勧めてまいります。



農業委員会では、毎年農地のパトロールを実施し、各農業委員が

担当地区内の農地の状況を確認、把握しています。現状が荒れている農地を緑・黄・赤の3段階に色分けし、地権者に対し、今後農地として利用する意思があるか否かの聞き取り調査をし

対応しています。

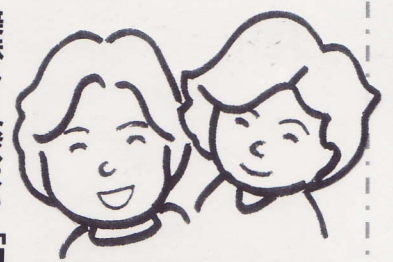
その中でも、菜切谷地区、上狼塚地区、田川地区は、「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」等で整備し引き受け手が転作に取組んでいます。

又、東鹿原地区は、圃場整備の声が集結し、土地改良区へ編入し、現在前向きに事業の採択へ準備しています。

一方、荒れた農地が増える背景には、「農家の高齢化や

後継者不足で農業が続けられない」、「農地の排水が悪く転作に向かない」等々の現状があります。

今後、耕作放棄地解消に向けて様々な取組を展開するには、地区内の役員の方々と知恵を出し合い、地権者も含めて荒れている農地を再生させる方法を見つけ実行しなければならぬと考えています。



登喜ちゃんと明美ちゃんの
知恵袋

美味しく食べよう「初がつお」
今回は、「かつお」の食べ方についての情報です。

① 生で食べる

かつおはブロックで買います。水洗いして塩一握りを全体にまぶして10分、塩を洗い流して水分をふき取り刺身にします。(フリフリで生臭さ無し)

② 塩かつおにする

*背側はしょうが、和がらうで
*腹側はネギ、にんにく、にらのみじん切りでお試ください！
①の塩をまぶしたかつおブロックをラップに包んで一晩置く。(冷凍保存も可能)

*切干大根と塩かつおをちぎってお酢で混ぜる

*塩かつおとしょうがを刻んで炊き上がったごはんに混ぜる

かつおのだしと塩味があり調味料いらずです。

明美

農地の権利移動・設定・転用等状況

(平成23年4月～平成24年3月)

項 目	事 由	件 数	面積 m ²
農地として 利用するた めの移動 (農地法第 3条許可)	所有権 移 転	売 買	10 9,045
		贈 与	12 65,072
		交 換	2 2,412
		小 計	24 76,529
	賃貸借権の設定		5 19,628
	使用貸借権の設定		12 349,567
	合 計		41 445,724
賃貸借の解約(農地法第18条通知)		40	321,486
農地として 利用するた めの移動 (農用地利用 集積計画)	利用権の設定(賃貸借)		156 1,268,729
	利用権の設定(使用貸借)		4 19,671
	所有権移転(売買)		23 179,034
	所有権移転(交換)		— —
	合 計		183 1,467,434
農地の転用 (農地法第4・5条許可)		自己転用	3 1,418
		権利移転を 伴う転用	17 30,271
		合 計	20 31,689

農業者年金現況届提出のお願い

現況届用紙に必要事項を記入・署名のうえ
6月1日(金)～29日(金)まで

農林課(中新田)、農業委員会(小野田)、宮崎支所の窓口に出してください。

お問い合わせ：農業委員会事務局(☎ 67-5411)

5月の末頃に届いていただきます。確認してくださいね！

編集委員
委員長 一條 寛
副委員長 板垣 文一
委員 工藤 義也
青砥 昭義
伊藤 登喜子
畠山 明美